

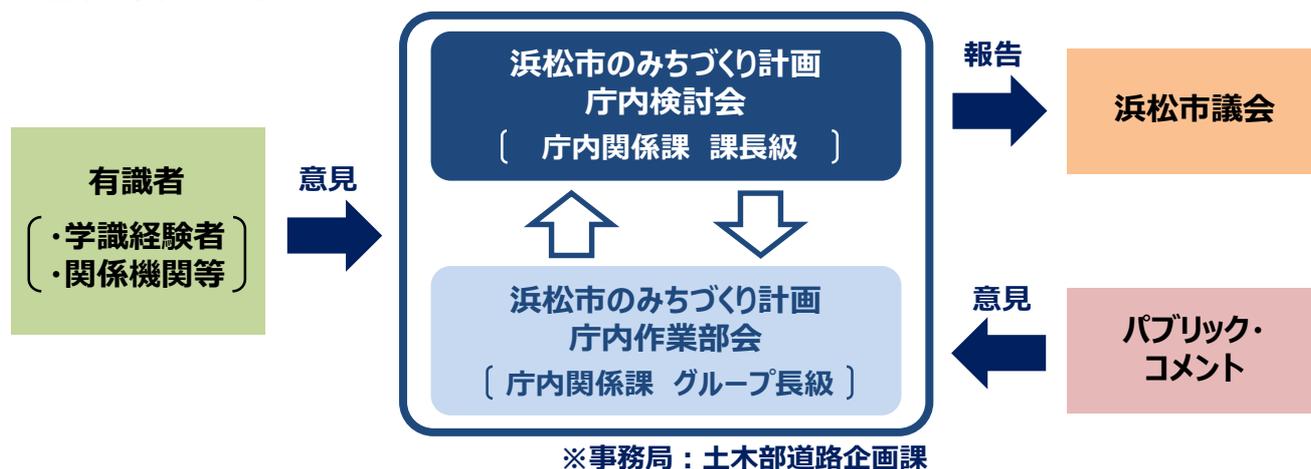
8 参考資料

◆ 策定経緯

■ 検討体制

- 浜松市のみちづくり計画は、庁内関係課で構成する「庁内検討会」及び「庁内作業部会」において検討するとともに、学識経験者や関係機関等の有識者からご意見を伺い、計画を策定いたしました。
- また、市民の皆様の意見を反映するためにパブリック・コメントを実施いたしました。

<検討体制のイメージ図>



<庁内検討会構成員一覧>

区分	所属等	
会長	土木部 道路企画課長	
会員	危機管理監 危機管理課長	環境部 環境政策課長
	企画調整部 企画課長	産業部 産業振興課長
	財務部 財政課長	土木部 道路保全課長
	財務部 アセットマネジメント推進課長	土木部 道路企画課 交通安全対策担当課長
	都市整備部 都市計画課長	土木部 道路保全課 土木管理担当課長
	都市整備部 交通政策課長	土木部 中央土木整備事務所長
	都市整備部 市街地整備課長	土木部 浜名土木整備事務所長
	学校教育部 健康安全課長	土木部 天竜土木整備事務所長

<庁内検討会の開催状況>

開催年月日	会議名	主な議題
令和6年 6月27日	第1回庁内検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・現行みちづくり計画の概要と進捗状況 ・次期みちづくり計画の策定方針 ・有識者からの意見 ・今後の予定
令和6年 7月29日	第2回庁内検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回庁内検討会の意見への対応状況 ・有識者からの意見 ・次期みちづくり計画の素案 ・今後の予定
令和7年 1月23日	第3回庁内検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの意見の内容と市の考え方（案）について ・道路整備プログラムについて

■ 有識者意見聴取

<学識経験者>

区分	所属等	氏名
学識経験者	埼玉大学 名誉教授	久保田 尚
	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 教授	杉木 直
	静岡理工科大学 土木工学科 准教授	松本 美紀

<関係機関等>

区分	所属等	氏名
経済界	浜松商工会議所 運輸部会長	高橋 満敬
市民代表	浜松市自治会連合会 副会長（生活部会担当）	佐藤 元久
関係機関	国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所長	白井 宏明
	静岡県 交通基盤部 道路局 道路企画課長	松岡 宏典
	中日本高速道路株式会社 浜松保全サービスセンター所長	尾高 寛信

<浜松市みちづくり計画策定に関する有識者意見聴取の開催状況>

開催年月日	会議名	主な議題
令和6年 6月24日	第1回有識者意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> ・現行みちづくり計画の概要と進捗状況 ・次期みちづくり計画の策定方針
令和6年 7月17日	第2回有識者意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回有識者意見聴取における意見とその対応状況 ・次期みちづくり計画の素案
令和7年 1月17日	第3回有識者意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの意見の内容と市の考え方（案）について ・道路整備プログラムについて

■パブリック・コメント・区協議会又は分科会・市民アンケート

<パブリック・コメント制度に基づく意見募集>

意見募集期間	令和6年10月25日（金）～令和6年11月25日（月）
意見提出者数	41名
意見数	71件
提出方法	持参（0）、郵便【はがき、封書】（2）、電子メール（21）、FAX（1） 説明会等（47）
意見の内訳	提案 7件、要望 38件、質問 26件
案に対する反映度	案の修正 0件、今後の参考 8件、盛り込み済 23件、その他 40件
市の考え方の公表	令和7年2月21日（金）

<区協議会又は分科会の開催状況>

開催時期	令和6年10月2日（水）～令和6年10月16日（水）
実施内容	<p>下記区協議会・分科会において、浜松市のみちづくり計画（案）の内容を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央区協議会 中地域分科会 [令和6年10月16日（水）] 東地域分科会 [令和6年10月 8日（火）] 西地域分科会 [令和6年10月 2日（水）] 南地域分科会 [令和6年10月 9日（水）] ・浜名区協議会 北地域分科会 [令和6年10月 9日（水）] 浜北地域分科会 [令和6年10月10日（水）] ・天竜区協議会 [令和6年10月10日（水）]

<市民アンケートの実施状況>

実施時期	令和6年6月28日（金）～令和6年7月2日（火）
実施内容	浜松市の道路整備に関する満足度や道路整備の方向性に関するアンケート
実施方法	Webアンケート
調査対象	Webアンケートモニターの登録情報から、浜松市在住の方を対象にアンケートを実施
参加人数	回収数 1,000人

◆用語集

(1/6)

	ページ	用語	説明
あ行	11	安全運転サポート車	衝突被害軽減ブレーキなどの先進安全技術でドライバーの安全運転を支援してくれる車のこと。
	36,45, 47	異常気象時 事前通行規制	大雨や台風による土砂崩れや落石等の恐れがある区間について、過去の記録などを元にそれぞれ規制の基準（連続雨量等）を定め、災害が発生する前に「通行止」などの規制を実施すること。
	18,29, 30,34, 35	いっちゃお！	道路の舗装、側溝、河川及びカーブミラーなどの管理施設について危険で修繕が必要な箇所を発見した際に、スマートフォンから写真・位置情報付きで本市へ通報することができるシステムのこと。
	51	イメージハンブ	道路上に物理的な凹凸を付けず、舗装の色や素材を変えることによって立体的に見せる速度抑制や注意喚起を目的とした路面標示のこと。
	31,35	ウォーカブル	歩きたくなる空間の創出のこと。 国土交通省では、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を推進するために、「まちなかウォーカブル推進プログラム」をとりまとめている。
	27,28, 35	AI	Artificial Intelligence（アーティフィシャルインテリジェンス）の略称で人工知能のこと。 コンピューターの性能が大きく向上したことにより、機械であるコンピューターが「学ぶ」ことができ、翻訳や画像解析、情報分析など、人間の知的活動にAIが大きな役割を果たしつつある。
	5	FSC認証材	FSC認証とは、「森林が適切に管理されているか」を第三者機関が全世界統一の基準に沿って審査、認証するもので、FSC認証された森林で生産された木材をFSC認証材という。 （Forest Stewardship Council（森林管理協議会））
	17,29, 35,46, 48	大型カルバート	道路の下に道路や水路などの空間を得るために土を盛って造成された土地あるいは現地盤内に設けられる構造物（カルバート）のこと。 内空に2車線以上の道路を有する規模のカルバートは大型カルバートに分類される。
か行	8,25, 31,34, 35,40, 44	回遊	買い物や観光などの目的で複数の拠点（商店街など）をまわる際の移動のこと。
	20,26, 35,36, 41,43	環状道路	都心や拠点へ向かう公共交通の定時性、速達性を向上させるため、または都心の自動車交通の整流化を図るために、拠点やインターチェンジ、観光地、商工業集積地などを環状方向に結んで、都心を通過する自動車交通を分散させる道路のこと。
	27,28	危険予測箇所マップ	本市で多発する交通事故を削減するため、AI（人工知能）技術を活用し、事故データや交通状況などを分析した結果をもとに道路の事故危険度の予測を行った。 事故危険予測箇所マップは、予測した事故危険度の高い箇所を地図上に示したもの。
	5	狭隘	1車線の道路など、道幅が狭く、すれ違いが困難な区間のこと。

	ページ	用語	説明
か行	28	狭さく	自動車の通行空間を物理的に狭くする、あるいは狭いと錯覚させることにより自動車のドライバーに自動車速度の抑制を促す道路構造のこと。
	2,4,19,25,26,33,34	拠点ネットワーク型都市構造	拠点間が公共交通を基本として有機的に連携されたコンパクトな都市構造のこと。 この都市構造の実現により、過度に自動車に依存することがなく誰もが歩きやすい健康で快適な暮らしの確保、財政的、経済的に持続可能な都市経営、都市の低炭素化などが可能となる。
	15,16,23,24,34,35,36,40,41,47,48	緊急輸送道路	災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線で、高速自動車国道や一般国道及びこれらを連絡する基幹的な道路のこと。 ※第1次緊急輸送道路：県庁所在地、地方中心都市及び重要港湾、空港等を連絡する道路 ※第2次緊急輸送道路：第1次緊急輸送道路と市町村役場、主要な防災拠点（行政機関、公共機関、主要駅、港湾、ヘリポート、災害医療拠点、自衛隊等）を連絡する道路 ※第3次緊急輸送道路：その他の道路
	16,23,48	くしの歯作戦	大規模地震や、それに伴う津波災害が発生した際に、負傷者の命を救い、被災者に緊急物資を届けるルートを確認するため、緊急通行車両が移動できるルートを切り啓く「道路啓開」を短期間で実行するための作戦のこと。 中部版くしの歯作戦では、道路啓開に当たって被災情報の収集から関係機関や道路利用者等への情報提供までの流れに沿って具体的な手順が示されているほか、優先的に道路啓開を実施する路線として選定した、くしの歯ルート（ステップ1～3）について、早期に太平洋沿岸部及び防災に係る拠点へ到達することを目的に、ルートごとに被害想定、必要資機材量、拠点事務所、参集場所、資材置場、担当業者の割り付けが整理されている。 【ステップ1】 広域支援ルート （全ての高速道路及び直轄国道等） 【ステップ2】 被災地アクセスルート （ステップ1と3及び重要拠点等を効率的に結ぶ比較的耐震性の高いルート） 【ステップ3】 沿岸沿いルート （沿岸ルート等孤立の危険性が高いエリアを通るルート）
	28	グリーンベルト	歩道が整備されていない道路の路側帯を緑色に着色して、車のドライバーに通学路であることを視覚的に認識させ、車両の速度を抑制させるとともに通行帯を明確にすることで、歩行者との接触事故を防ぐことを目的とした交通安全対策のこと。
	1,4,16,23,33,34	激甚化	災害の規模や範囲が以前よりも大きく激しくなること。
	1,5,25,26,35,42	高規格道路	自動車が高速で走れる構造で造られた自動車専用道路のこと。

(3/6)

	ページ	用語	説明
か行	20,25, 35	交通結節点	異なる交通手段（同じ交通手段の場合もあり）が相互に連結する乗り換え場所・施設のこと。 乗り換え場所としての機能だけではなく、人々が憩い、集い、語らうための交流機能や都市の顔としての機能もある。
	27	交通事故忌避意識	交通事故は悲惨なものであり、交通事故に遭わない・起こさないという意識のこと。
	43	交通需要	1時間、5分などの単位時間に道路網上のある区間またはある地点を通ろうとする車両など、または歩行者のこと。
	43	交通容量	ある道路の断面を一定の時間間隔内に通過することが期待できる最大の交通量のこと。
	15	国庫災害	暴風、こう水、高潮、地震その他の異常な天然現象により被災した公共土木施設の復旧を地方公共団体の財政力に適応するように効率的な国庫負担を行った災害のこと。
	10,42	混雑時旅行速度	1日の中で最も混雑する時間帯の旅行速度のこと。 旅行速度とは、道路の一定区間を移動するのに必要とした時間で除した値。
さ行	26,42	サービスレベル	道路利用者に提供するサービス（走行速度）のレベルのこと。
	16	沢埋め高盛土	低くなっている地盤や斜めになっている地盤に対して、土砂を盛ることで平らにすることを盛土といい、その中で、沢地形を埋めた盛土高10m程度以上の盛土のこと。
	17,29, 35,46, 48	シールド	落石、雪崩などから道路交通や施設を防護するために道路を覆うように設けられる構造物のこと。
	51	シケイン	車両の通行部分の線形をジグザグにしたり蛇行させたりして、運転者に左右のハンドル操作を強いることにより、車の走行速度を低減させる構造のこと。
	27,28, 35,50, 51	事故危険箇所	交通事故が多発している箇所やビッグデータから判明した潜在的な危険箇所等を国土交通省と警察庁が合同で指定した箇所のこと。
	27,35	事故多発交差点	人身事故が多発し重点的に対策が必要な交差点のこと。 危険度、地域バランスなど総合的に判断し、浜松市交差点等事故削減対策部会で選定されている。
	11,12, 13	事故類型	事故を、まず当事者の種類（人又は車両）によって分類し、次いで当事者の事故時の行動等（動き、位置、衝突物等）によって更に細かく分類したもののこと。
	1,8,27, 28,31, 32,35, 44,50	自転車通行空間	歩行者、自転車、自動車とともに安全で快適に通行できるよう、車道の一部を活用した自転車レーンの設置や歩道内での構造的・視覚的分離などの手法によって整備される自転車の通行部分のこと。

	ページ	用語	説明
さ行	29	重点管理路線	本市が管理する道路に対して、防災・減災、老朽化対策の優先度の指標として、路線の区分・区間を設定したもの。
	9,10	主要渋滞箇所	ピーク時旅行速度20km/h以下で、信号待ちが2回以上ある箇所のことで、国土交通省や関係機関で構成する渋滞対策推進協議会において決定されるもの。
	36	需要率	供給に対する需要の比率のことで、ここでは自転車等駐車場の収容台数に対する利用台数（路上放置自転車含む）の比率。
	28,51	スムーズ横断歩道	速度抑制効果の高い路面を盛り上げたランプを組み合わせた横断歩道のこと。 横断歩道が高くなるため歩行者がスムーズに横断できるようになり、小さな子どももドライバーから見つけやすくなるのが期待できる。
	9	西遠都市圏PT調査	PT調査とは、Person Trip（パーソントリップ）調査の略称。人の動きに着目し、「どのような人が」「どのような目的で」「どこからどこへ」「どのような時間帯に」「どのような交通手段で」移動しているかを把握する交通実態調査のこと。 西遠都市圏とは、浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、菊川市、森町の6市1町のこと。
	34,35,43	整流化	渋滞が発生しないように最適化された交通流のこと。
た行	27,28,34,35,49,50	ゾーン30プラス	生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備の更なる推進を図るため、最高速度30km/hの区域規制と、狭さくやランプ等の物理的デバイスの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域のこと。
	9	代表交通手段分担率	トリップで利用した主な交通手段を代表交通手段といい、代表交通手段別のトリップ数が全交通手段の数に占める割合のことを分担率という。 トリップとは、人または車両がある目的（例えば出勤、買物など）を持って起点から終点へ移動するその1方向の移動を表す概念、およびその移動を定量的に表現する際の単位のこと。
	1,2,17,29,30,33,34,35,37,45,46,48	長寿命化	新設から撤去までのライフサイクルコストの延長のための対策に留まらず、更新を含め、将来にわたって必要な機能を発揮し続けるための取り組みのこと。
	17	長大切土	土地を利用しやすくするために、斜面などを切り取り、平らな地面を作る行為のことを切土といい、切土高おおむね15m以上のものは長大切土に分類される。
	27,34,52	通学路交通安全プログラム	道路管理者・警察・学校・PTA等で組織された連絡会において策定した、通学路対策に関する取組の基本方針のこと。
	1,29,30,35	DX	Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）の略称。先端技術やデータを活用して、組織や仕組み等を抜本的に変革すること。

(5/6)

	ページ	用語	説明
た行	30	天秤方式 移動型レーダ探査	トンネル内を時速2km～5kmで連続的にレーダ探査する技術のことで、コンクリートの厚さや背面の空洞などを探査することができる。
	18,29, 30,34, 35	道路愛護活動	市民や地元企業が道路の一定区間の公共空間をボランティアで定期的・継続的に清掃・美化活動（沿道の清掃活動・植栽柵の管理・歩道のゴミ拾いなど）を行うもの。
	16,23, 33,48	道路啓開	緊急車両等の通行のため、早急に最低限の瓦礫処理を行い、簡易な段差修正等により救援ルートを開けること。 大規模災害では、応急復旧を実施する前に救援ルートを確保する道路啓開が必要となる。
	17,29, 30,35, 46	特定道路 土工構造物	盛土高おおむね10m以上の高盛土や切土高おおむね15m以上の長大切土のこと。 盛土とは、谷間や斜面などに土を盛り、平らな地面を作る行為のことをいい、切土とは、土地を利用しやすくするために、斜面などを切り取り、平らな地面を作る行為のこと。
	25,31, 35,36, 38,40, 44	都市計画道路	都市の基盤施設として、都市計画法に基づいて決定した道路であり、都市及び都市交通の将来像を踏まえ、都市全体におけるネットワークの将来の姿として定められた道路のこと。
	4	都市の空洞化	郊外部で商業開発等が進む一方、中心部で空き店舗や空き家等が増加し賑わいが低下すること。
な行	8	ナショナル サイクルルート	サイクルツーリズムの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るため、ソフト・ハードの両面から一定の水準を満たすルートを国が指定する。
	8	日本風景街道	「道」やその周辺を舞台に、地域住民やNPO、企業、行政など多様な主体による協働のもと、景観や自然、歴史・文化、観光資源などの地域資源を活かし、美しい風景・景観の創出や地域の活性化、観光振興を図る取り組みのこと。 平成19年から国土交通省が登録を開始。
は行	11	浜松市交通事故 ワースト1脱出作戦	本市は、人口10万人当たりの人身交通事故件数が、政令指定都市の中で、平成21年から連続ワースト1であり、脱却に向け、関係機関が連携して、平成27年度から実施している作戦のこと。 具体的には、交通事故防止に向けた広報啓発活動のほか、事故データに基づく交通事故削減効果の高い対策、通学路等の生活道路の安全対策や交通事故の危険性が高い交差点における事故削減対策を実施している。
	13,28, 51	ハンブ	道路に設置した凸型路面を用いて、事前にドライバーへ視認させることや、高速で通過した場合にドライバーへ不快感を与えることにより、速度低下を促す物理的な道路構造のこと。
	26	ピーク時／ オフピーク時	1日の中で、交通量は時間帯によって変化し、特に交通量が多い時間帯をピーク時といい、少ない時間帯をオフピーク時という。
	35	ビッグデータ	インターネットを通じた情報やセンサーデータ（GPS等）など、ICT（情報通信技術）の進展により生成・収集・蓄積された多種多量のデータで、典型的なデータベースソフトウェアが分析できる能力を超えたサイズのデータを指す。

	ページ	用語	説明
は行	20,26, 33,34, 35,36, 43	放射道路	都心と拠点間の連携を向上させるため、都心を中心に拠点、インターチェンジ、観光地、商工業集積地などを放射方向に結ぶ道路のこと。
	18	ポットホール	舗装表面にできる小さな穴のこと。 アスファルトが劣化し結合力が低下すると発生する。
	26	ポテンシャル性能	スムーズな時の旅行速度のこと。
ま行	32	道の日	道路の意義や重要性に対する国民の理解を深めるために、8月10日を「道の日」としている。
や行	28,32	矢羽根型路面表示	矢羽根型路面表示とは、路面に自転車の通行位置と方向を明示して、自転車の安全な通行を促すもの。 自転車利用者だけでなく、自動車ドライバーに対しても、車道上の自転車通行位置を知らせる法定外の路面表示のこと。
	1,17, 29,30, 34,36, 48	予防保全型	重大な不具合が発生してから対策を行う事後保全に対し、施設の老朽化が加速していくことを踏まえ、損傷が軽微な段階で予防的な修繕を実施することで機能の保持・回復を図ることを予防保全型維持管理という。 これにより、施設は一定水準の状態が保たれ、施設の長寿命化とともに、トータルコストの縮減および維持管理費の平準化を図ることができる。
ら行	28	ライジングボラード	車の進入を抑止し、特定のグループの車のみでの進入を可能とすることを目的とした構造で、許可された車両が進入する場合、道路中央に設置されたポールを下降させることにより通行が可能となる仕組みのこと。
	28,35, 44	ラウンドアバウト	交差点中心に存在する交通島の周辺を右回り一方通行で走行する車両に優先権があり、信号機や一時停止などにより中断されない円形の平面交差点のこと。
	29	リスクベースメンテナンス	破損や事故の起きやすさ、当該事故が市民生活に及ぼす影響の大きさ、改修・更新経費の規模などのリスクを基準に、各インフラ資産を分類し、各々の維持管理指標、耐用年数、管理目標などにより、維持管理、改修・更新を実施する手法のこと。
	16,23, 24,35	リダンダンシー	自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されている様な性質のこと。
	9,10, 26,42, 43	旅行速度	旅行速度とは、一定区間の距離を移動するのに必要とした時間で除した値。
	42	60分圏域	ある地点から60分以内に到達することができる範囲のこと。
わ行	30	わだち掘れ	走行車両によるアスファルト混合物の変形などにより、道路舗装面の車輪走行位置が帯状に凹む現象のこと。

◆“浜松市のみちづくり”を発信中！

▶ 浜松市の道路を利用する皆さまに、“浜松市のみちづくり”へのご理解とご関心を深めていただくために、浜松市の道路事業や災害による交通規制情報、交通安全情報等の情報をSNS等を用いて積極的に発信しています。

“土木事業の魅力”を発信！

YouTubeやX（旧Twitter）を活用し、道路事業をはじめとする様々な土木事業の魅力を動画にて発信しています。



＜浜松市土木部公式YouTubeチャンネル＞



＜浜松市土木部公式Xアカウント＞



[YouTube]



[X]

豪雨災害等による“道路の規制情報”を発信！

X（旧Twitter）や浜松市HPを活用し、豪雨災害等による道路の規制情報や迂回路情報、災害復旧情報などを随時発信しています。



＜浜松市の公式Xアカウント＞
（浜松市豪雨災害等の規制情報）



＜災害復旧だより（浜松市HP公開）＞



[X]



[HP]

交通事故に関する情報や交通安全イベントなどの“交通安全情報”を発信！

X（旧Twitter）やInstagramを活用し、交通事故に関する情報や交通安全イベントなど、様々な交通安全情報を発信しています。



＜浜松市の公式Xアカウント（浜松市交通安全情報）＞



[X]



[Instagram]





浜松市
HAMAMATSU CITY

土木部 道路企画課

〒430-8652

浜松市中央区元城町103-2

TEL 053-457-2427

E-mail dourokikaku1@city.hamamatsu.shizuoka.jp